

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 443

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	Tel. 042-345-1585
あさやけ属の作業所	小平市小川町 1-411 番地	Tel. 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	Tel. 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	Tel. 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	Tel. 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	Tel. 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	Tel. 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	Tel. 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	Tel. 042-313-6269



第12回KODAIRA わいわいバザール

会場 / 小平特別支援学校

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



榎本 康之さん
(あさやけ風の作業所)

ずっと応援しています！



榎本康之さん。「やっつきー」と聞くとご存知の方が多いのではないのでしょうか。あさやけ生活三十三年を迎える、すてきなおじさまです。大好きな榎本康之さんをたくさんご紹介したいと思います。

好きなこと。食べ物はなんでも好きです。おからが少々苦手でしたが、風に来てから食べられるようになりました。カラオケでは、贈る言葉、が十八番、心にしみみます。

得意なこと。大好きな人の名前は忘れません。「やちよさん」「あやちゃん」昔の名前が出てきます。本当にうれしそうに懐かんでいます。

お仕事。かつては風の作業所名物、スコーンをつくっていました。何をやっても上手で、シールもきれいに貼れます。ピンセットを使っての細かい作業もできます。鈴のかしめ、ボールペン組立もできます。空き缶回収のリヤカー引きは柱にぶつけません。

やさしさ。大好きな仲間の車イスを上手に押してくれます。歩いていて前の人がハンカチを落としたり、「あいよ、あいよ」と言って拾って渡してくれます。

手。とてもきれいな手をしています。爪がすらすらと伸びていてうらやましいです。「爪が伸びているから切るね」と声をかけると、手を出してじっと待っていてくれます。

自慢。ホームに入ってから、約五十キロのダイエットに成功しました。洋服のサイズがすべて合わなくなりましたので一緒に買い物に行きました。榎本さんは淡いグリーンがよく似合います。

文字。ひらがなはきれいに書けます。「さ、さくらのさ。た、たぬきのた。」小さい頃お母さんにたくさん教えてもらいました。漢字も書けます。目にも書けます。作業所のノートを整理していたら、榎本さんが旅行先から出した絵葉書が出てきたことがありました。

笑顔。声を出して笑うことは少ないのですが、微笑。が本当に素敵です。何だか視線を感じるなあと、思ってから振り返ると、遠い遠いところで榎本さんがほほ笑んでいました。人を引き付ける力があるのでしょうかね。

大好きだったお父さんが他界して六年。榎本さんを取り巻く環境にめまぐるしい変化がありました。その一つ一つに対応していく事は、榎本さんにとって本当に大変なことだったと思います。でも、今こうして風の作業所へ、一人で、多摩モノレールを使って通って来ています。すごいことです。榎本康之さん、五十一才。まだまだ可能性を秘めていると思います。これからも応援しています。

今年で十二回目を迎えるKODAIRAわいわいバザールは、例年までと違うスタートでした。毎年会場でお世話になっていた、東京障害者能力開発校の校舎建て替えにより、二年間バザールの会場として使うことができない。ということと、私たちの施設で開催することが困難なあさやけにとつて、厳しい状況となりました。

「今年は中止？」との話も上がる中、もし、中止となれば、再開はきつと難しいだろうという話までありました。しかし、障がい支援課の河原課長にも会場探しにご尽力いただき、小平特別支援学校の許可も得られ、今年も開催することができることになりました。

KODAIRAわいわいバザールへのご協力ありがとうございました

わいわいバザール実行委員長

川村 武士

バザールを続けて来たことで積み重ねてきた財産は多く、その多くは人の繋がりで、毎年、提供品を楽しみにして下さる地域の方々、作業所員とその父母、職員やボランティアとが一体となる模範店、施設や法人を超えた顔の見える横のつながりがあります。障害を持っていようがいまいが、横のつながりや立場を超えて同じ会場に集い毎年このイベントをし続けられてきたことに誇りを感じます。

今年のバザールは、準備期間の短い中で行いましたが、テーマとしては、「魅力のある、また来たいと思えるバザールにする」

「自分たちが参加できるバザールを目指して」という目標を立て、その目標に向けて、実行委員会にて所員の参加できるスペースの検討、来場者の楽しめるスタンブラー企画、ボランティアの打ち上げの復活など準備を進めてきました。

印象としては、常に会場に人が絶えなかったこと。特にお祭り広場は、ステージが始まると、ブルーシートを埋め尽くすほどの人が集まり、注目を集めていました。また、私の所属する鷹の台作業所の所員たちは、今年は何を踊ろうかな？と開催が決まる前から楽しみにしていました。みんな練習もし、数ヶ月前から、個人的に練習をしている人もいました。自分たちのバザールを自分たちが中心となり、盛り上げていたこと。とても印象的でした。

「バザール」と辞書で調べる。それ以上の意味がこのKODAIRAわいわいバザールにはあると思います。これからも、魅力のあるイベントとなるよう皆で意見を出し合って考えていきたいと思えます。

ご協力してくださりました皆様ありがとうございました。

※バザールは、当初のあさやけバザールから数えると今年で四十四回目になります。



健康チェック



参加団体の紹介



出張販売

第12回 KODAIRAわいわいバザール
—皆様のご協力でにぎやかに行われました—



日用雑貨品



あしたば作業所の組木



古本



パラリンピックの競技種目にもなっている「ボッチャ」の体験コーナー



KODAIRAわいわいバザール あさやけ作業所の会計報告

2016年10月11日現在

収入の部		支出の部	
寄付金	74,855	宣伝費	133,032
衣類コーナー	945,634	備品費	97,424
くつ	147,800	ガソリン代	17,716
かばん	214,301	要員弁当代など	84,746
ベビーおもちゃ	71,115	企画公演	12,499
雑貨・古本	404,595	役員費	106,096
本部模擬店	317,527	雑費	600,850
出店料	22,000	未払い金	0
収入合計	2,197,827	支出合計	1,052,363
	差引収益		1,145,464



手作りトートバックづくり



第二の店



おまつり広場 キラキラ人形劇団

2016年 精神障がい者ホームヘルパー養成研修会

日時：11月10日(木)・17日(木)・24日(木)の3日間
13:30~17:00

場所：小平元気村おがわ東 第一会議室または第二会議室
対象：介護職員初任者(旧ホームヘルパー2級)または、実務者研修
(旧ホームヘルパー1級)を修了した方
市内居宅支援事業所に登録しているホームヘルパー
個人ヘルパー
これから精神障がい者の支援をしたいと考えている方

定員：30名 費用：無料

<研修内容>

精神障害者に関する基礎知識、生活を支える支援について、サービス等利用計画について
ホームヘルプ制度について、ホームヘルプサービスの提供にあたって、施設見学(希望者)
当事者からの体験発表、事例検討(グループ討議)まとめ・修了式

申込み・問合せ先/地域生活支援センターあさやけ

TEL 042(345)2077・1741 FAX042(345)1734
10月31日(月)迄にFAXまたはお電話でお申し込みください。



社会福祉法人ときわ会東日本大震災支援募金活動に ご協力いただいたみなさま

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、地震や津波により多くの尊い命が奪われ、原発の事故でふるさとまでも奪われた人たちがたくさんいます。5年という歳月は、復興の機音を確かなものにしてきた一方で、今なお癒やされない傷に苦しむ人々がいることも事実です。

震災直後からあさやけでは、被災地の、特に障害がある人たちとその家族のみなさんに対し、支援員の派遣と募金活動を行って参りました。一般の被災者の方々への支援も必要ではありましたが、わたしたちにできること、わたしたちにしかできないことを考え、障害がある人たちへの支援を柱にしてきました。

このたび誠に勝手ではありますが、下記の募金額をもちまして、東日本大震災支援募金活動を休止いたします。ご協力いただいたみなさまには、心より感謝申し上げます。たくさんの募金を、本当にありがとうございました。

なお、集まりました募金は、きょうされんを通じ、被災地の支援活動、作業所等施設の復興等に使用しました。ホームページ等でご確認いただければ幸いです。

<http://www.kyosaren.com/eastjapan/>

募金総額 2,509,493 円
(2011年4月~2016年9月末日)

第12回KODAIRAわいわいバザール協力団体・協力者

(順不同および敬称は略させて頂きました)

- 後援団体
小平市 小平市社会福祉協議会
- 協賛団体
小平肢体不自由児者父母の会 小平手をつなぐ親の会
有楽製菓株式会社 株式会社ブリヂストン
- 会場
東京都立小平特別支援学校
- 参加団体
ゆうやけ子どもクラブ父母会 むさしの会 のぞみ作業所 小平手をつなぐ親の会
おだまき工房 久米川共同作業所 整育園通所部ういず 小平第二みどり作業所
澄水園 ともにネットグループホーム父母会 仲間の家 生活リハビリセンター六三四
あしたば作業所 小平市役所資源循環課 東都生活協同組合 ワークセンターこむたん
える・ぼいん 西都保健生協 あさやけ風の作業所 あさやけ風の作業所父母会
あさやけ作業所 あさやけ作業所父母会 あさやけ鷹の台作業所 あさやけ第二作業所
共同ホーム一歩父母会 サングリーン 地域生活支援センターあさやけ CAZE CAFE
- おまつり広場、イベント関係
ロス・トマドール 都立小平高校ダンス部 キラキラ人形劇団(リズム工房) ハビネス
こげら合唱団 あさやけ鷹の台作業所メンバー
- 備品関係
村田建設 小平福祉園 山内電気 あかつき寮 多摩液化ガス 小平市資源循環課
小平市市民協働参画推進課 小平市立たいよう福祉センター 整育園通所部ういず
のぞみ作業所 (有)内山自動車工業 フジノテニススクール 小平市中央公民館
(有)広瀬公費商会
- ボランティア関係
小平・東村山・東大和共済会社会貢献活動部 社協こだいらボランティアセンター
NPO法人小平ハートピア 東都生活協同組合 武蔵野ボランティアセンター
- 駐車場・車両の借用
前原紙業 社会福祉法人未来 のぞみ作業所 ほのぼの館 東京障害者能力開発校
小平市立たいよう福祉センター 集いの家
- ご協賛・ご寄付
(株)菊池ビルサービス (有)内山自動車工業 (有)やなぎ屋ミート (有)野村屋
アサノエクステリア アート引越センター東大和店 (株)山崎パン武蔵野工場
(株)第一屋製パン (株)多摩液化ガス 高野智子 亀山美津子 小柳シマ 花房幸子
坂田キミ子 今野(小川町) 関隆男 匿名(鈴木町) 小林正雄 小野朋子 若本忠興
※その他ポスター掲示、当日のお手伝いなど多数の方々のご協力をいただきました。

ありがとうございました。

第20回精神保健福祉を創るつどい

参加費無料
申込不要

第1部 シンクロナイズ
リカバリーストーリー
(体験型)

第2部 音楽
ライブ
アート鑑賞
アート鑑賞
アート鑑賞
「生きる」の物語

「生きる」
内田麻純 作

ごだいら元気フェス

ごだいらで元気に暮るフェスティバル～それぞれのリカバリーストーリー～
病と向き合いながら自分らしく生きる人生を語ります。

2016年11月12日(土)13:00~16:30(開場12:30)

★お食 トーシェツ 50%

★お食は統合失調症と健康者のお笑いコンビです。

※室内シューズまたはスリッパを
ご持参ください。

小平元気村おがわ東
屋内広場(体育館)

JR 東田馬場駅より西武拝島線
または
JR 中央線国分寺駅より東武
西武多摩線
東山駅 徒歩4分



主催：小平地域精神保健福祉連絡会
後援：小平市・多摩総合精神保健福祉センター・小平市社会福祉協議会
問合せ：東武サービスセンターなごみ ☎050-3479-0561 (担当：渡辺)

この事業は小平市社会福祉協議会請求したすけあい地域福祉活動基金による助成を受けています。

廃品回収のお知らせ

9月の廃品回収の回収量は21,010kgでした。内訳は新聞15,530kg、雑誌・ダンボール5,480kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて309,730円でした。

次回は11月19日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。